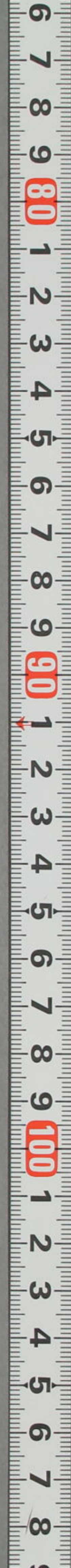
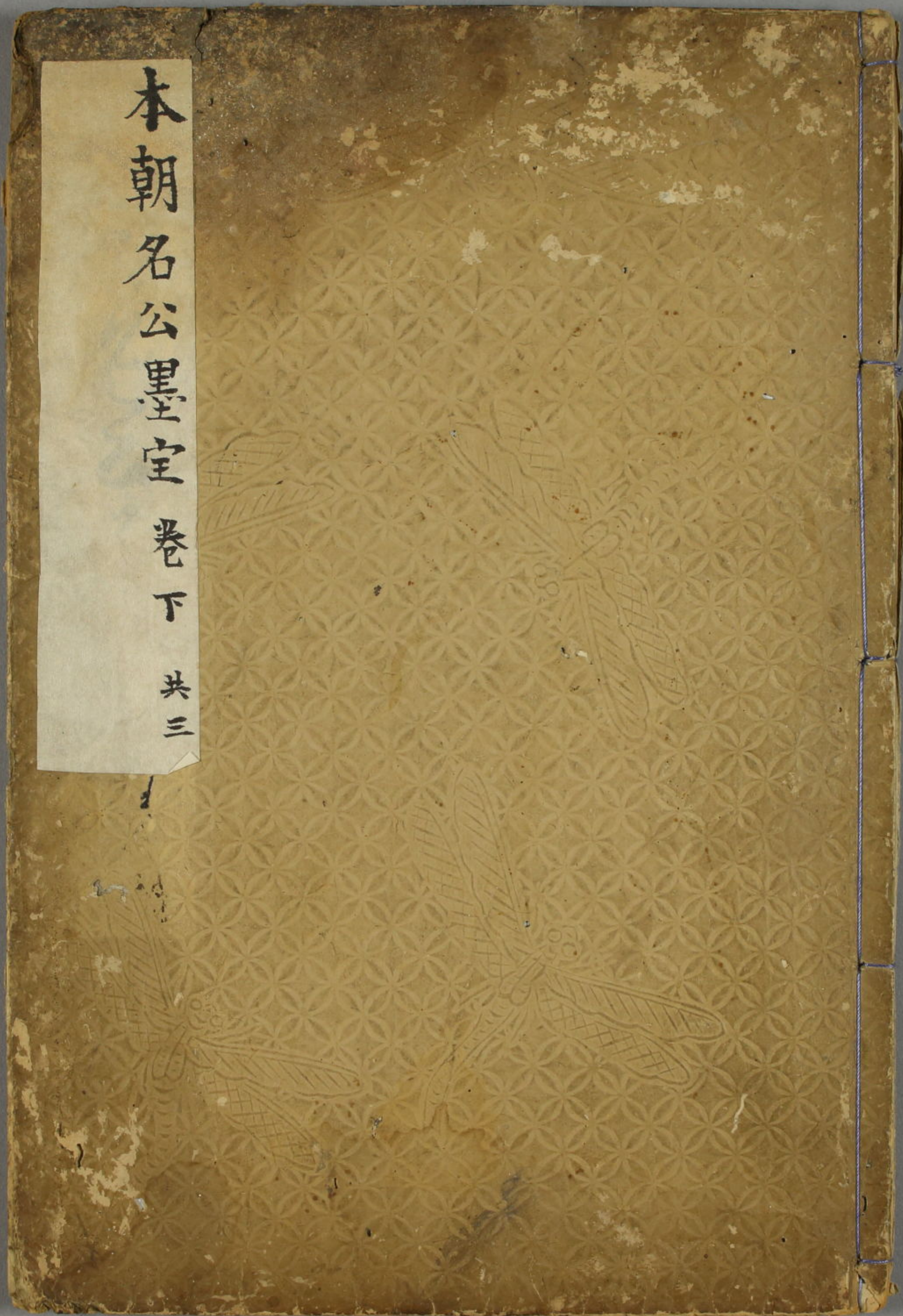




本朝名公墨宝 卷下 共三



本朝名臣雲寶卷之下

目錄

八幡山惺々齋



雄德山松花堂惺翁

花下忘歸因

美京樽前勳

醉是喜風

さくらハ花はれふ

さくらハ花はれふ

種 かりさる

の けいさく

あ

あ

位 細沙箱

湖 落 曉

鳥 籠 野

鳥 籠 野

了了了了了了

月夜之松風之聲と

花之くさくさ

花之くさくさ

如也如也

知如也

今宵露宿

在祐也

鳥一
時來

伴
玉
暮
隨
苑

朝
踏
落
苑
相

鳥
一
時
來

伴
玉
暮
隨
苑

朝
踏
落
苑
相

あゝ羅ちふ本此

たのむ

心かろて

空にしれぬ

静かきふりける

正

衣帯

背
背
背

福
途

紗
紗
紗

考
軍
箱

多岐の

ふり

花の

ふり

り

費

う

族

あ

村

ふ

下五

孫河文竟

多岐

俊是

在

ちちりあはれ

ふたふた

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

杯必雨洞

新秋地

桐葉風涼

あはれ

輝

かよあわや

さのひね

あまのこ

後す

風流

静

及

海

三川と成美

カクシカクシ

カクシ

夫、子乳

カクシ

カクシカクシ

三輝岸

雪之花初

白

一夜中

霜はあま

如

為本無心

祿之

學之

之

業
を
之
あ

得之

目高見

飲酒

年

雲
々
々
々

々
々
々
々

々
々
々
々

々
々
々
々

々
々
々
々

晴
々
々
々

嶺
一
門

雲
々
々
々

雲
々
々
々

わがやうに

ま—羅なつての我々

え—じ

た—ふ

あは

な—やあは

若使業部

道徳

海—河

不—

晨明のあきら

しきまはら
る

心のあま

るひくおね

とねるは

罪類曉興

曲丁志

孝深る

る心実

夜過山
疎河石聲
空燒酒
酒身空氣

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

うふふれむれふ
むるれまや
くうれま
たうのけ乃
ふれふれ

ふふ人

れむれ

ふふ

れむれ

あゝにきふ死

かりこや音

多秋の月

雪ふりあふそそ

あふみやあふれ

尚晩簾以

生白露

終夜床底

見青と

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

後
後
後
後
後
後
後
後
後
後

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

心
心
心
心
心
心
心
心
心
心

よるのよる

こはるのよる

あめりた

きり

う

山市晴嵐

一竿酒蹄斜陽意

数簇人家煙曉中

山路醉眠

歸去晚

太平無日

不喜風

心。來。也。

人。此。也。

也。

也。

也。

遠浦歸帆

鷺島青山一抹秋

漁平碧浪橋上漁

歸櫓漸入

暮色花去

長在夕陽

江上頭

風也子

浪子

浪子如斜

浪子如斜

漁村夕照

為著沙汀成

稿

江南江北開一

呼聲首座

大泉孫

朴老西風

森一松花

山井

なみのうきをいかに
此

泣く一程みくそい
此

よげきききき
これ

のちよ

遠寺晚鐘

雲遮不見梵王宮

殷々鐘聲訢晚風

此去上方

猶遠近

爲言只在

此山中

くきりるふきりる

はら

かおのきりるきりる

今

みちりきりるきりる

平沙落鷹

古字きりる

きりる

きりるきりる

道正法

御法書

錯向科陽

利東細

道正法

御法書

利東細

道正法

御法書

洞庭秋月

西風剪剪出蒼蒼

三三

多頃烟波涵桂花

海海不知

歸客恨

直吹寒氣

已暮也

秋

秋風吹落葉

秋風吹落葉

力學

松

滿湘夜雨

先自思江易

凍雲粘雨濕

孤燈蓮意

新篇意

紙向竹枝

添減痕

尺

石子よひ

たのしみ

よきあはれ

かきかき

新法に

江天暮雪

雪浪江天暮雪
糴糶玉蕊

扁舟一葉
如身

前灣呼晚

兩聲搖

秋是山陰

高僧人

あ
の
繁
り
り
れ
る

お
も
も
ふ
の
ま
ま

遠

み
も
は
の
ま
ま

い
ろ
ろ
ろ
ろ
ろ

古人學書者未有不從門入蘓公終爲
非家珍實知蘓公語病如彼鍾繇受羣
仲將羲之學衛夫人者有故乎名公墨
寶者何 本朝諸名公之墨刻也
本邦自古未見有勤珉刻木之帖是非
乏其人而好事者鮮矣一日或人以此
事求我予假借所知家藏極究目力臨
模鐫刻者若干人若干帖或行草或假

名惟急於成快有不得廣蒐博采之遺
憾然墨寶之嗜好淳化之遺意也於是
可見龍飛虎跳風雲浮動之姿縱雖無
神采望其面目者也若臨池者步其蹊
逕知其端倪者庶幾一助云爾

正保三年仲冬日

下亦一終

